

## 1. 除染分科会 (2/4)

### (1) 河川水中の放射性セシウムを含む懸濁物質の発生源

#### 議題

- 福島第一原発事故で環境中に放出された放射性核種の河川水中での輸送に係る調査研究結果  
(特に、台風等の大規模な降雨時に生じる懸濁物質に着目)  
(森林、河川敷、河川水中で採取した試料を採取分析)

#### 今後の計画

- プロジェクト未までに実施するとしていた調査研究内容に対する IAEA の継続的なフォロー

## 2. 廃棄物分科会 (2/1~3)

### (1) 県内仮置場の廃棄物搬出後の安全性評価に係る県報告書の内容検討

#### 議題

- 除染活動から生じた除去土壌等搬出後の仮置場の安全性評価  
・特に、対象、被ばく経路、用いる計算方法や数値、不確実性)
- 県環境創造センター フェーズ2 報告書への上記結果の記載内容  
・特に、想定される読者への理解のしやすさ、IAEA 安全文書との整合性

#### 今後の計画

- フェーズ2 報告書の完成公開までの IAEA の継続的なフォロー

## 3. モニタリング分科会 (1/31)

### (1) きのこに対するモニタリング手法としての非破壊検査

#### 議題

- 県内で採取される野生きのこに対する出荷制限の現状及び新たなモニタリング手法紹介  
・出荷制限解除を目指しモニタリング等を実施しているが時間労力を要する  
・そこで国と協力して新たな手法としての非破壊検査の適用性検討中  
・並行して、安全性が確認されたものの出荷を要望、2021 年度からマツタケを対象に出荷開始
- 参考としてチェルノブイリ事故により影響を受けたスウェーデンの事例紹介  
(特に、福島との違いや一般の方々に対する理解醸成の方法)

#### 今後の計画

- 県側の要望に応じ上記出荷制限の解除に向けた IAEA の継続的なフォロー
- プロジェクト未までに実施するとしていた調査研究内容に対する IAEA の継続的なフォロー

#### 4. 情報発信 (1/24,27)

##### (1) 県内で採取生産されるきのこに係るパンフレット作成

###### 議題

- 県内での野生きのこを採取や出荷しようとする方を対象としたパンフレット作成
- 読者に最も理解頂きたいと考える要素の確認、内容構成の検討

###### 今後の計画

- 本年度内の完成公開に向けた IAEA との調整  
(IAEA 及び県の website に公開し、来年度のきのこシーズン前に印刷物配布予定)
- そのための IAEA の継続的なフォロー